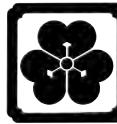


桐生春まつり

まち だ さい

桐生新町町立て祭 四二五年



小さなまちなか博物館・美術館会場

桐生新町町立て祭は、まちに賑わいを取り戻すため、毎年春に桐生のイベントの一つとして開催するもので、地域の宝として、桐生新町に誇りを持ち、先人が築いた歴史文化を大切に守り、育むため、再認識する場として実施するものです。

桐生新町は、徳川家康の命を受けて、八王子の代官大久保長安の手代大野八右衛門が派遣され、天正19年(1591)より慶長11年(1606)にかけてつくられました。起点に天満宮を遷座し、止めには淨運寺を配した、神様と仏様に守られた町です。その後、安永8年(1779)には、庄内松山藩酒井忠休の所領地となって陣屋が設けられるなど、歴史的な繋がりがあり、現在も旧松山町(山形県酒田市)、八王子や府中の皆さんとの交流が続いています。

桐生新町(きりゅうしんまち)

桐生新町とは、現在の本町一丁目から本町六丁目と横山村を含む町の範囲で、現在の桐生の礎とも言える場所です。

町立て(町を造ること)に際しては、地区の北東に天満宮を遷座して起点とし、ほぼ中央にあたる現在の本町三丁目の位置に、天正3年(1575)由良成繁が遷宮した母衣輪輪現が既にあり、南西の位置に淨運寺を配しました。それらを結ぶように幅5間(約9m)の道(現在の本町通り)を通し、道の両側には間口6~7間(約12~14m)、奥行き40間(約80m)という短冊状の敷地割りがなされ、計画的なまちづくりが行われました。なお今年は町立てが始まった天正19年(1591)より数えて425年になります。

大野八右衛門(おおの はちえもん)

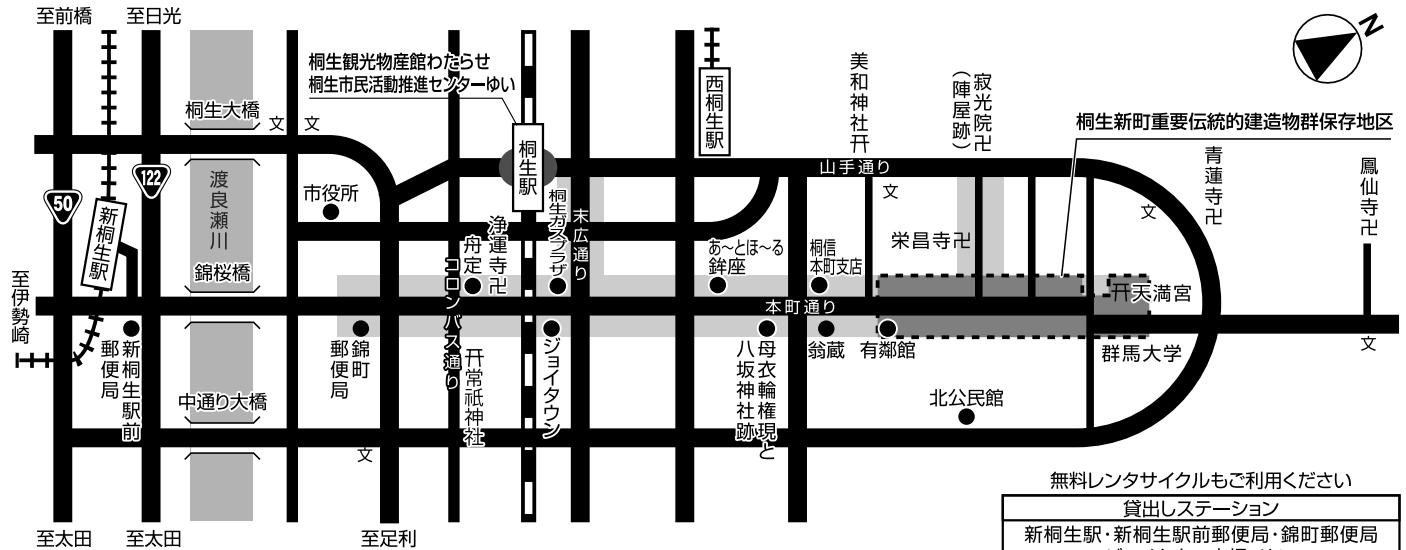
大野八右衛門は、武蔵多摩郡横山村(現在の八王子市)で生まれ、八王子の代官大久保長安の手代として桐生新町の建設の携わりました。

八右衛門は、慶長15年(1610)に天満宮に宝殿を奉納した後、真相は定かではありませんが、大久保長安の不正疑惑により始まった政変に巻き込まれ、慶長19年(1614)3月22日に処刑されたという記録があります。

なお、八右衛門の墓所は現存せず、供養の墓碑が鳳仙寺にあります。



会場案内図



協賛(順不同)

ペ 桐生中村 おかげめんこⅡ シルバーホテル 森本商店 大須賀商店 三木商店 ホテル桐盛館 ミッセループラネット きりゅう市民活動推進ネットワーク 喫茶茶店 桐生市末広町商店街 泉新 カリブ シャングリ・ラ だるま本店 本町三丁目町会	桐生市本町三丁目商店街 矢野園 本町二丁目町会 本町二丁目商盛会 桐生本町二郵便局 田村信行 無鄰館 桐生理容組合 カットサロン・マキ 横山町町会 須藤英輔 サン上田工務 林内田刺繍 口川徹善 川善助	新見祐三 新見直廣 新見化学工業 中野幸三郎 大島会計事務所 買場紗綾市実行委員会 森合資会社 森壽作 こととい喫茶店 島崎英三 きんでん吳服店 藤原勝 桐生天滿宮 鳳坪井良 坪井良	和菓子処舟定 桐生市本町六丁目商店街 淨運寺 多田洋品店 ヒライデンキ アサカシユーズ 金井園本店 辰見屋 越前屋 桐生中央商店街 モギカバン本店 かわち商店 コバトラ 菓匠青柳 マルカツ商店 シロキヤ書店 小野眼	マルキソ 桐生さくらや せとく 一花 一花 宝石・メガネ・補聴器 イイズカ洋品店 ラブティック・ゾナ 近江屋書店 寿司の美喜仁 クイーン堂シーフーズ きものサロンおおさわ 藤江醫院 奈良屋銅鐵本店 岩下労務管理事務所 笠盛 赤城觀光自動車	そば蔵桃太郎 書肆画廊奈良書店 アズ 本町一丁目商進会 本町一丁目町会 中村弥市商店
					桐生新町町立て祭実行委員会 第一区・第二区・第三区・第八区: 本町一丁目町会 · 本町二丁目町会 · 本町三丁目町会 · 本町四丁目自治会 · 本町五丁目自治会 · 本町六丁目町会 · 横山町町会 · 末広町一丁目町会 · 末広町二丁目町会 · 末広町三丁目自治会 · 錦町東自治会 · 桐生商店連盟協同組合 · 本町一丁目商進会 · 本町二丁目商盛会 · 本町三丁目商店街振興組合 · 本町四丁目商店街振興組合 · 中央商店街振興組合 · 本町六丁目商店街振興組合 · 末広町商店街振興組合 · 天満宮 · 淨運寺 · 栄昌寺 · 凤仙寺 · 寂光院 · ファッションタウン桐生推進協議会 · NPO法人 本一 · 本二まちづくりの会 · かんのんまちづくりの会 · 桐生再生 · 帰都市環境研究所